

# GPA制度について

本学は適切な成績管理の実施、客観的な成績評価、科目間の成績評価基準の平準化を目的として、成績評価に基づき、学業成績を総合的に判断する指標として、単位当たりの成績評価の平均値を示す GPA (グレードポイントアベレージ)を用いている。

## GPA とは…

成績評価を単位あたりの平均ポイントで表したものの

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各科目の単位数} \times \text{評価を受けた各科目のGP})\text{の合計}}{\text{評価を受けた各科目の単位数の合計}}$$

## GPA 算出方法

各評価におけるグレードポイント(GP)は次の通り。

評価	S	A	B	C	F
GP	4	3	2	1	0

## GPA 算出方法における注意事項

- 評価(S・A・B・C・F)された全ての科目が対象となる。
- 試験未受験(M)、出席不足による受験停止(T)科目も**対象(GP:0)**となる。
- 不合格科目を再履修し、合格した場合、**再履修して得た評価に置き換えて算出**する。
- **単位認定(N)科目は対象外**となる。
- **履修中止(W)科目は対象外**となる。
- 資格課程科目(卒業要件外)は**対象外**となる。
- 但し、教養科目としての「生涯学習概論 I」「図書館概論」「教育心理学」については、**GPA の計算に含まれる**。
- GPA については**累積で算出**する。

## GPA 算出方法例

科目	単位	評価(GP)	各科目のGP
情報機器演習(基礎)	2	S(4)	$2 \times 4 = 8$
ピアノⅡ①	2	A(3)	$2 \times 3 = 6$
ハーモニー演習①	2	B(2)	$2 \times 2 = 4$
経済学	2	C(1)	$2 \times 1 = 2$
西洋音楽史 I (1年生)	4	F(0)	$4 \times 0 = 0 \rightarrow$ <b>対象外</b>
西洋音楽史 I (再履修)	4	B(2)	$4 \times 2 = 8$
美術史 I	2	W -	<b>対象外</b>
基礎英語 I	2	T(0)	$2 \times 0 = 0$
心理学	2	M(0)	$2 \times 0 = 0$
体育実技	1	N -	<b>対象外</b>
教育原理(資格科目)	2	S -	<b>対象外</b>
<b>合計</b>	<b>25</b>		<b>28</b>

### [ 左記の場合 ]

- 各科目のGP の合計は **28**
- 履修登録した単位数の合計は 25 ただし
  - ✓ 「W」「N」「資格課程」を除く
  - ✓ 「F」は再履修して得た評価に置き換わる

↓↓↓  
評価を受けた各科目の単位数の合計は**16**となる。

$$28 \div 16 = 1.750 \text{ (小数点第三位四捨五入)}$$

$$\text{GPA} = 1.75 \text{ となる}$$